



# YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2015年12月号

## 自分の枠を広げるためには学ぶしかない!

先日、知人の紹介で中村学園大学教育学部教授の  
占部賢志氏の「日本の歴史に学ぶ会」の講演に参加  
させていただきました。日本の今の教育に濁を入れ

られたようなお話で、背筋がピンと伸びるような思  
いで勉強させていただきました。そのなかで、占部  
氏は人生の師と仰ぐ伝説の国語教師、故小柳先生の  
教えとして「自分の枠を広げるためには学ぶしか  
ない」という話をなさったのですがとても共感できる  
言葉だったので紹介したいと思います。

私たちは知らず知らずのうちに自分に枠組みを作  
っています。半年ほど前のYES通信でメンタルブ  
ロックという記事を書いたのですが、それをおさ  
らしてみたいと思います。

メンタルブロックとは、自分で「これはできない」と  
と無意識レベルで自分に制限をかけてしまつてい  
ます。ソウを調教する際にはまずソウが逃げないよう  
に、ソウの足を大木に結びつけます。するとそのソ  
ウは足を外そうと必死で頑張りますが、大木は全く  
動きません。そこでしまいは、外すことをあきら  
めてしまうのです。今度は、そのソウを大木ではな  
く細い杭と同じように足を結び付けるとどうなるか  
と思いますか？なんとすぐに抜けるような細い杭であ  
るにも関わらず。ソウは逃げ出すことはしないのだ  
です。この様にできることを今までの経験から

無意識にできないと思ひ込むことをメンタルブロッ  
クと言います。

これは私たちにもあります。赤ちゃんは何でも出  
来ると思っています。だから、熱湯の中に指を入れ  
ようとしたら、階段から転げ落ちたりするわけです。  
ですから、周りにいるお母さんたちが、その危険を  
未然に防止するために「熱いから触っちゃダメ」「落  
ちるからそっちに行っちゃダメ」と一生懸命守って  
あげるので。しかし、それは私たちを守ってくれ

た反面、いろいろなブレーキを自分に掛けてしまつ  
原因になっているのです。私たちは、ある意味メン  
タルブロックの塊なのです。そして、自分とは「こ  
んなもんだ」という枠組みを知らず知らずのうちに  
作ってしまうのです。じゃあその枠組みからどのよ  
うに抜け出すのか？それが「学問なのだ」と仰って  
おいでなのです。学ぶことで枠の外に何かあるのか  
を知ることができるとです。

料理が苦手な人は美味しいケーキを作るなんてと  
てもじゃないけど出来ないと思ひ込んでいるにちが  
いありません。しかし、ケーキ作りの達人と言われ  
る人のもとに修行に行つて、ケーキ作りのレシピと  
その作り方を伝授してもらつてどうなるでしょう  
か？きっと時間はかかるかも知れませんが美味しい  
ケーキは作れるようになります。

達人のもとに修行に行かなくても、本当にその気  
があるならば、本屋さんでケーキ作りの本を買っ  
てきて材料を揃えて実際に作ってみれば、どんな  
上達していくはずなのです。今ならインターネット  
もあるし、いろんな情報は学び放題なのです。

学問というところが堅苦しい難しい事のように  
が、実際にはこのように可能性を広げていくことが  
学びなのではないかと思つています。

学問とは本当にありがたいものなのです。です  
から、昔は学びたいことのためには何カ月もかけてわ  
ざわざ歩いて学びに行くわけです。吉田松陰が山口  
の萩から長崎まで学びに行ったという話は有名な話  
ですが、名もなき普通の人も学びのために遠くまで  
足を運んだものなのです。それほどの価値が学びに  
はあるのです。占部氏の話を聞いて学び始めてや  
はり大切なあゝ何歳になつても学ばないといけな  
いのだなあと思ひ感じた次第です。

私も最近、経営者としての学びを始めたのですが、  
経営が上手いかなと思つたときに、松下幸之助  
さんやソフトバンクの孫社長ならどうするかなあ  
と思つ時が度々あります。私にはいろいろな悩みや  
壁があるかもしれませんが、ほとんどの場合、前人  
未達の事をやっているわけではありません。ケ  
ーキ作りのように誰かがやったことをやっているに  
すぎないのです。同じような経験をした人に学ば  
ばいいのです。何でも素直に教えるを請い学んでいき  
たいです。

# やる気相談室

## 質問

### 成績の良い子供の親の特徴は？

成績の良い子供の親の特徴って何だと思えますか？

以前、中学受験で難関校に多数のお子様を合格に導いた塾長さんが成績の良い子供の親の特徴についてこんなことを話しておいででした。「成績が良いお子様のお母様は子供が学校や塾か

ら帰ると決まって『今日どんな事習ったの？教えるよ』と満面の笑みで聞くのよわわわ。

すると子供たちは「今日は学校で○○○○を習ってね……………」と学校で習ったことを一生懸命教えてくれるのです。そこでお母さんはその話を嬉しそうに顔をこわべ一生懸命に聞いてあげてくれるのです。すると子供は喜びの顔で頑張っていてあれこれと教えてくれるのだと聞いています。

最近、そろばんを始め小さいお子様(下は年少さん)から小学の年生まで(と)接する機

会が増えてきたのですが、一番感じていることは

「子供は親のために(親に褒めてもらうために)必死で頑張っている」ということと「す。

しかも、小さければ小さいほどそれがすべると言っているほど大きなウエイトを占めるという事です。大人でさえ親の喜ぶ顔を見るのは嬉しいものです。親の喜ぶ顔を見て嬉しくない子供がいるのでしょうか？

先日、eトレ(今、中学生に導入しているプリント教材でここ数年注目されている自立学習支援システム)のユーザー会がありました。そこでパネラーとして参加させていただきました大阪の小馬塾長はこのような体験談をお話されました。その教室ではインセンティブとしてある枚数に達するとポイントがたまりそのポイントを貯めるとホールケーキが買えるようにしています。するとお母さんの誕生日前にはなんとケーキをゲットしようとして子供たちが頑張るのだそうです。その頑張りを見るたびにご家族のために頑張る子供の純粋さに胸を打たれると話されて

いました。

また、プリント学習の成否はお母さんがかに頑張ったことを認めるかにかかっているとおっしゃる塾長さんいました。それだけ親に認められたいという気持ちが強いのでしょうか。

ですから、学校や塾で勉強したことをしっかり聞いてあげて承認してあげることで「もっと頑張ろう」という気持ちになるのです。また、習ったことをすべに聞いてあげることと習った(インプリントした)ことを実践(アウトプリント)することになり最高の復習ができるのです。仕事も勉強も同じで、学んだことをすべ実践することが上達の早道なのです。しかも、脳の構造上学んだことをすべに復習したほうが、記憶に定着しやすい事も証明されています。だから、宿題も提出前にやる人よりも、出されたらすべにやった方が効率がいいのです。

私は、子供が二人とも家を出てしまいまさらながらもっと話を聞いてあげれば良かったと反省しています。皆さんは是非、聞いてあげてくださいね。

#### 海難1890

#### 映画紹介



今テレビで宣伝している映画「海難1890」を観てきました。この映画は今月のYES通信で紹介した占部先生がいらっしゃらなかったら映画になっていなかったかもしれないのです。トルコはイラン・イラク戦争のおり、危険もかえりみず2機の航空機を派遣し、テヘランに取り残された邦人215名を救出してくれました。しかし、なぜトルコの人々が日本国自体救出を断念するほどの危険を冒してまで日本人を救出したのか？当時の日本人には謎だったのです。しかし、そこにはトルコの小学校の教科書に掲載されているほど有名なエルトゥールル号事件があったのです。占部先生はいろいろな資料を検証し現地へ行き、駆けずり回って、日本人が遭難したトルコ人を献身的に救出した事実をまとめ上げたのです。この映画は人間の真実の物語です。人間が本来自己中心的で自分本位であるのも真実ならば、このように美しい人間愛も真実なのです。歴史に学ぶとはどう言うことなのか？自分らしく幸せに生きていくためにはどのような事を学んでいくべきか？答えは明らかだと思います。歳のせいもあるとは思いますが涙が止まりませんでした。悲しい泣かせる話で涙がこぼれるのではなく、嬉しい幸せな気持ちで涙が溢れてくるのです。素晴らしい映画でした。是非この映画を見て人間の真実の素晴らしさを学んでみてください。